

第44回

新千歳空港の24時間運用に関する 苫小牧市地域協議会会議録

平成27年8月25日開催

第44回 新千歳空港の24時間運用に関する苫小牧市地域協議会

- ・日 時 平成27年8月25日(火) 19:00～19:40
- ・場 所 リサイクルプラザ苫小牧

・議 題

- (1) 地域世話人の選出について
- (2) 深夜・早朝時間帯の離着陸回数の変更に係る協議について
 - ① 住宅防音対策の補完(案)について
 - ② 合意文書(案)について
- (3) その他

・出席者

- ◎地域委員(17名)
- ◎北海道(14名)
- ◎苫小牧市(8名)

1. 開 会

●苫小牧市空港政策課長 お晩でございます。定刻となりましたので、ただいまから第44回新千歳空港の24時間運用に関する苫小牧市地域協議会を開催いたします。

本日の協議会はお手元に配付しております会議次第により進めさせていただきます。それでは、会議に先立ちまして北海道副知事よりご挨拶申し上げます。

2. あいさつ

●北海道副知事 お晩でございます。いつも大変お世話になっております。今日は委員の皆様にお盆明けで何かとお忙しい中、そしてまた、お仕事の後でお疲れのところをまた、このようにご出席を賜りまして感謝を申し上げたいと思います。

新千歳空港の24時間運用につきましては、これまでも大変、ご理解とご協力をいただきてまいりました。とりわけ、深夜・早朝時間帯における発着枠の拡大の問題につきましては、今年3月に大変なご理解をいただき、基本合意をいただきました。このことに、改めて感謝を申し上げる次第でございます。

その際、この基本合意をいただくにあたりましては、皆様方から、千歳市の方でも早期に地域協議会を開催して、合意を得るように、ご意見を頂戴したところでございます。先週の22日土曜日に千歳市において協議会を開催させていただき、30枠への拡大、そしてそれに伴う住宅防音対策や地域振興対策の内容につきまして合意を得たところでございますが、苫小牧市側での基本合意から5か月ほどの期間を要してしまいました。その間、大変ご心配をお掛けいたしましたことを、お詫びを申し上げます。

本日は、苫小牧市及び千歳市の両市に共通する対策につきまして、6枠合意時と同様に、「覚書の確認事項」ということで合意をさせていただきたいと考えております。その内容

について協議をさせていただきたいと思っておりますが、この協議につきましては、両市のバランスを欠くことがないように、千歳市側で住宅防音対策に追加して実施する寝室対策につきましては、苫小牧市側でも同様に実施をさせていただくということで、苫小牧市さんとも連携しながら対応をさせていただきたいと考えております。何とぞ、皆様のご理解を賜りたいと存じます。

本日、提案をさせていただく内容もちまして、枠拡大協議に係る最終的なご了解をいただき、今後は、皆様方とお約束をした住宅防音対策、あるいは地域振興対策につきまして、苫小牧市さんと連携をしながら、誠心誠意、その着実な推進に努めてまいり所存でございます。

この度の発着枠拡大に対する合意、そしてその実現が、必ずや、北海道、そして苫小牧市の振興・発展に大きく貢献するものとなるように、更に国際線等の誘致活動に努めまして、道として、できる限りの対応を行ってまいりたいと思っておりますので、今後とも、ご理解とご協力をいただきたいと思います。

本日はどうぞ、よろしくお願い申し上げます。

●苫小牧市空港政策課長 続きまして、苫小牧市長よりご挨拶申し上げます。

●苫小牧市長 皆様、お晩でございます。大変、お忙しいところ、また夜分にも関わりもせず、こうしてご出席をいただきました皆様方に心からお礼を申し上げたいと思います。同時に皆様方におかれましては、新千歳空港の24時間運用に関しまして、平素から大変なご理解、ご協力をいただいておりますことを、この席をお借りして、厚くお礼を申し上げたいと思います。

ただいま副知事からお話ございましたように、今年の2月に開催をさせていただきました本地域協議会におきまして、枠拡大に対する基本合意をいただきましたこと、更には3月に覚書の調印式を執り行うことができましたことに、改めて心からお礼申し上げる次第でございます。

今日は、千歳市における合意を踏まえまして、覚書の確認事項等についてご了解をいただきたく、このようにお集まりいただいた次第でございますが、市といたしましては今回の枠拡大につきまして、今まさに地域の皆様のご理解を得るためのスタート地点に立ったという認識でございます。お約束をした住宅防音対策、あるいは地域振興対策につきまして今後、北海道と連携をし、スピード感をもって全力で取り組んでいかなければならないと考えているところでございます。

改めまして、委員の皆様には地域協議会開催に対しますお礼と協議へのご協力を心からお願い申し上げます。冒頭のご挨拶にさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 議 題 (1)

●苫小牧市空港政策課長 それでは、3の議題に入らせていただきます。

(1) 「地域世話人の選出について」を議題といたします。

協議会運営要領では、地域委員の互選により選出となっておりますが、いかがいたしましょうか。

●A委員 今までの世話人の方には大変申し訳ないのですが、留任というかたちでお願いしたいと思います。

●苫小牧市空港政策課長 ただいま留任というご意見がありましたが、皆様よろしいでしょうか。（「異議なし」の声あり）

それでは、3地区の世話人につきましては引き続き、植苗地区はB委員、沼ノ端地区はC委員、勇払地区はD委員にお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

3. 議 題 (2)

●苫小牧市空港政策課長 続きまして、継続協議事項の(2)「深夜・早朝時間帯の離着陸回数の変更に係る協議について」を議題といたします。

「①住宅防音対策の補完(案)について」と「②合意文書(案)」については、関連がありますので、一括して議題といたします。北海道から説明いたします。

●北海道新千歳空港周辺対策担当局長 住宅防音対策についてであります。苫小牧市、千歳市に共通する住宅防音対策の詳細について、最終的な合意をいただく内容につきまして説明させていただきますが、今年2月の苫小牧市地域協議会におきまして、委員から、継続協議となる千歳市の対策とバランスを欠かないようにとのご意見をいただいたところであります。

したがいまして、説明に入る前に、千歳市での合意内容を説明させていただきます。

千歳市における協議では、防衛省に準拠した住宅防音工事に加えて「深夜の騒音であることに配慮した更なる住宅防音の充実」を求める意見が多かったことから、後ほど説明する「寝室対策」を住宅防音対策の補完として実施をいたします。

この対策は、住宅防音対策の一環として実施するものでありますが、住宅防音対策につきましては、両市において同じ工事の内容を実施するものであることから、苫小牧市側でも同様に実施させていただきます。

また、地域振興対策につきましては、苫小牧側のようなハード整備の要望が少なく、ハード整備よりも更なる住宅防音機能の維持・拡充を求める声が多かったこと、また、こうした意見を具体化し、集約することが困難であったことから、苫小牧側の地域振興対策の現段階における試算額と同額程度を基金化し、個々の住宅への更なる防音対策も含め、26億円の基金を積むこととしたところであります。

以上のとおり、道といたしましては、苫小牧側、千歳側のバランスを欠くことのないよう、対策を行うこととしておりますので、ご理解いただきたいと思います。

それでは、資料の1ページをご覧くださいと思います。道が実施をいたします住宅防音対策につきましては、深夜・早朝時間帯における運航便に係るものであることを考慮し、防衛省に準拠した住宅防音工事を補完する対策として、「寝室対策」を追加して実施いたします。

この寝室対策は、これまでに、住民の方々から、「深夜の騒音であることに配慮した更なる住宅防音の充実が必要」といったご意見を踏まえ、道として、睡眠に配慮した室内環境を確保するため、寝室の遮音性能の向上を図ることを目的とするものであります。

その内容は、家族数分の居室、これは原則寝室であります。居室に、内窓を設置することにより、遮音性能をJIS規格の「T-4」レベル、これは40dB減衰するものであります。遮音性能を高めること、窓を閉め切った状況でも、夏場の睡眠を確保できるようにするため、冷房装置を設置することです。

なお、内窓が既に寝室に設置されているなどの理由によりまして、この対策を実施しない場合は、「内窓」及び「冷房装置」の設置に代えて、寝室の静かな室内環境を確保することが期待される「屋根」、「天井」又は「壁」の工事を選択可能としております。

その場合の工事費は、「内窓」及び「冷房装置」の設置にかかる費用の見合い額として、一戸当たり100万円を上限といたします。

次のページの資料2をご覧ください。今年3月に合意をいただきました発着枠拡大に係る「覚書」のうち、苫小牧市、千歳市に共通した内容で実施する住宅防音対策につきましては、その詳細を「覚書の確認事項」として、取り決めをさせていただきたいと考えております。

この方法は、平成6年の6枠合意時と同様であり、当時は、「合意書」と「確認事項」の2部構成とさせていただきました。

最初に、(1)の対策区域の指定日は、6枠合意時の状況などに準拠し、10月31日とさせていただきます。(2)の工事の適用工法については、これも6枠合意時と同様に、対策区域を①から③に区分し、それぞれA工法、B工法、C工法を適用することとし、その区域は、5ページから6ページのA3版の図に示しており、この区分は6枠時の区分と同様であります。

2ページの中段に戻っていただければと思います。適用工法は、A工法、B工法、C工法とありますが、防衛省の工法との比較では、A工法とB工法が第Ⅰ工法にあたり、C工法が第Ⅱ工法にあたります。

(3)の工事の内容についてであります。「防音建具機能復旧工事」につきましては、防衛省が定める住宅防音工事標準仕方書に準拠して実施をいたしますが、防音サッシにつきましては、日本工業規格JISに定める基準T-2の遮音性能を満たすものへの取替とし、サッシの取替に代えて内窓を設置することもできます。

3ページをご覧くださいと思います。「新規住宅防音工事」及び「建替住宅防音工事」について、工法別に区分して、その工事内容を表にまとめておりますが、「外部開口部」の防音サッシにつきましては、工法区分に関わらず、防音建具機能復旧工事と同様に、T

ー2のサッシに取替え、又はこれに代えて、内窓を設置できます。

その他、「内部開口部」を、防音襖や防音ガラス戸等の防音建具に取り替えるほか、対象部屋数によって異なりますが、必要数分の空調機器の設置を行います。

次に、「住宅防音対策の補完」については、先程、資料1で説明した内容でありますので、説明を割愛させていただきます。

最後に、「フォローアップ」についてであります。防音工事後のフォローアップは、防音機能の維持・確保を目的として、国に準拠しながら必要な工事を実施することとし、その時期や内容は適正な時期に検討いたします。

また、新規住宅につきましては、フォローアップの中で、住宅防音対策の進捗状況や一定期間後の住宅の防音機能の状況を踏まえ、適正な時期に補完対策を実施することとし、今回のフォローアップ時には、「新規住宅」は「経年住宅」として必要な対策を実施することを明記いたしました。説明は以上であります。

●苦小牧市空港政策課長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問をお受けしたいと思っております。何かございますでしょうか。

●C委員 3月19日に苦小牧は調印が終わってますが、その時の条件の上乗せが、今回、千歳で発生しました。その中で1戸あたり100万という中で、当初の防音工事と千歳に対する上乗せの差額というのは出ているのでしょうか。100万掛ける戸数で良いということなのか。

●北海道新千歳空港周辺対策担当局長 ただいまのご質問、住宅防音対策の補完として実施をいたします寝室対策の関係だと思っておりますけれども、私どもとしては、まずは家族数分の居室に内窓あるいは冷房装置を設置するということが基本でありまして、この内容につきましては両市に共通する内容として実施をさせていただきます。

また、これら内窓あるいは冷房装置を設置しない場合については、「屋根」「天井」「壁」を選択可能とするということで1戸当たり100万円と先ほど説明させていただきましたけれども、例えば今、C委員がおっしゃったのは、対象戸数当たりの100万円と対象戸数の差ということでよろしかったでしょうか。

●C委員 はい。苦小牧と千歳の戸数が違うので、新たにどのくらい上乗せの予算が必要なのか、ということです。

●北海道新千歳空港周辺対策担当局長 1戸当たり100万円と仮に計算をしたとすれば、住宅防音対策につきましては、それぞれ千歳側と苦小牧市側で戸数が違いますので、千歳側の場合は全体の戸数が約3,300戸、それから苦小牧側につきましては約400戸であります。それぞれこの100万円を掛けますと、その差額は33億引く4億で、29億になるものと考えております。

●C委員 北海道は、29億、苦小牧が調印した後に予算を増やしたということでもいいのですね。

●北海道新千歳空港周辺対策担当局長 予算を1戸あたり100万円と仮定した場合の総額で

ありますけれども、3月の調印後に上乘せした額といたしましては、37億円になると考えております。

●C委員 苫小牧としては、戸数でいくとそれは正当な数字なのですがけれども、金額的にいくと非常に大きい数字が千歳側に乗かかるとする中で、苫小牧側にプラスアルファになるものはないのかということで、具体的なものはありません。以上です。その数字だけ知りたかったのです。

●苫小牧市空港政策課長 他にございますでしょうか。

●C委員 質問をひとつ思い出しました。千歳に26億相当の基金を新設するのですが、防音機能の維持などとなっているのですが、何にでも使えるという意味にとって良いのでしょうか。それとも防音工事のその他ということなのでしょうか。当初、千歳は何にでも使えるお金が欲しいと要望があったように聞いております。ですから何にでも使える部分があるのか、あくまでも防音工事の補充に使うのかということをお教えいただきたいと思っております。

●北海道新千歳空港周辺対策担当局長 去年12月に千歳側で地域協議会が開催されて以降、今年1月から2月に町内説明会を千歳側では開催させていただきました。またその後、地域協議会委員の方々とも地域振興対策についていろいろと協議をさせていただきましたが、その協議の経過の中では、確かに今、C委員がおっしゃったように、何にでも使えるお金というような趣旨のことをおっしゃる方もいらっしゃいました。ただ、基本的にはハード施設よりも住宅防音機能の維持、拡充を求める声が多かったということで、今回、苫小牧側における地域振興対策の今時点での試算額見合いの額ということで、26億円の基金を積まさせていただきますけれども、仮にその中身として住宅防音機能の維持、拡充にお使いになるということであれば、そういった住宅防音機能の維持、拡充に資するものという縛りの中で、千歳側の方々にも使っていただくということで考えております。したがって何にでも使えるお金ということではありません。

●C委員 はい、わかりました。

●苫小牧市空港政策課長 他にご質問、ご意見、ございますか。他によろしいでしょうか。それでは、最後にもまた、ご意見、ご質問を聴く機会がございますので、この件に関してはよろしいですか。（「良いです」の声あり）

なければ、「①住宅防音対策の補完(案)について」と「②合意文書(案)」については、いずれも原案どおりご了解いただくということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

異議なしとのことでありますので、これをもちまして、合意をいただいたということにさせていただきます。ありがとうございます。

なお確認事項の署名、押印につきましては、後日地域世話人の皆様のところにお伺いさせていただきますので、よろしく願いいたします。

3. 議 題 (3)

● 苫小牧市空港政策課長 それでは、次に(3)「その他」を議題といたします。北海道から何かございますでしょうか。

● 北海道新千歳空港周辺対策担当局長 ありません。

4. 閉 会

● 苫小牧市空港政策課長 それでは本日の議題はすべて終了となりますけれども、委員の皆様から他に何か、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

● E委員 それではこの二つ、①と②が終わりましたけれども、改めて確認いたしますけれども、告示日が10月31日ということですね。今後のタイムスケジュール、進め方は、いつ頃からこういう対策をやっていくのか、苫小牧の場合は振興策も含めてですね、あとたぶん、防音工事の場合は地元の説明会等々、具体的になるのかと思いますけれども、分かっている範囲でお答えいただければと思います。

● 北海道新千歳空港周辺対策担当局長 まず住宅防音工事につきましては、合意をいただいた後に、本日合意をいただきましたので、具体的なスケジュールを私どもからお示しさせていただきたいと考えておりますが、年内には住民説明会の開催でありますとか、あるいは工事内容を紹介する資料の配付、それから工事の意向調査を実施していきたいと考えております。本格的な防音工事については、来年度から実施をしまいたいと考えております。

また地域振興対策、7つの事業を皆様方と先の地域協議会、あるいは3月の調印式で合意をさせていただきましたけれども、本日合意をいただきましたので、必要な手続き、あるいは予算要求と、いろいろと手続きがありますけれども、先ほど苫小牧市長のご挨拶の中でスピーディーにやっていくというお話がございましたけれども、北海道といたしましても、苫小牧市と連携、協力しながら、皆様方とお約束した事業につきましてスピーディーに対応をしまいたいと考えております。

● E委員 なぜそういう質問をしたかということ、千歳が26億の基金を10年間という、報道だけですから分かりませんが、苫小牧も10年もかけてやられるということであれば、ちょっとあんまりかなと思っているものですから、6年以上も機能強化をやってきた中で皆様のご理解いただいてこれだけ調印まで至ったわけですから、振興策を含めて防音工事もスピーディーにやってもらいたいと思います。もとより、30枠を皆様方が了解したわけですから、北海道の活性化になるように働いていただければと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

● 苫小牧市空港政策課長 それでは他に何かございますでしょうか。

● F委員 今の意見にも関連しますけれども、苫小牧地区としては、この3月の19日で合意をした訳です。そして知事さんの3期12年の年度内にどうしても、合意をして差し上げる、

世話人を始めとする苫小牧の役員の皆様が一致団結して、市長さんにして差し上げた。このことだけは道庁さんも心にしてほしいと思います。

そして今言われたように、千歳は10年かけて26億を使うということですがけれども、苫小牧は何としても、知事さんの4年の任期のうちに全部仕上げていただく、そんなスピードでやってほしいと思います。これだけ、是非、約束していただけることをお願い申し上げます。終わります。

●北海道新千歳空港周辺対策担当局長 ただいまF委員の方から、お話がございましたけれども、千歳の地域振興対策につきましては、先ほど26億円の基金を積むと申し上げましたが、この26億円につきましては10年間で積み立てるということでお話をしております。そう言う意味では、10年間経たないと全体の26億円が積まされないという状況にはなるのですが、苫小牧市側につきましては、今年3月に7つの事業ということでお約束をさせていただきました。本日の協議の中で、先ほど確認事項についても合意をいただきましたので、これで全ての協議が整ったわけであります。道といたしましては、お約束した施設を早期に整備できるよう、知事の任期中に着手してまいりたいと考えておりまして、各事業について住民の皆様と、市や道との必要な調整が整い次第、順次対応してまいりたいと考えております。

●苫小牧市空港政策課長 それでは他にご質問等よろしいでしょうか。

ないようでございますので、協議会の閉会に当たり、副知事と苫小牧市長から一言ずつ、ごあいさつを申し上げます。

最初に、副知事、お願いいたします。

●北海道副知事 本日はどうもありがとうございます。改めましてご挨拶申し上げたいと思います。

本日、植苗地区、沼ノ端地区、そして勇払地区の皆様から、深夜・早朝時間帯の発着枠拡大に係る最終合意をいただいたところでございます。改めて心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、平成21年からの長きにわたりまして本当に真摯な協議を重ねていただきました。まさに航路下の厳しい現実、これを踏まえながら一つ申し上げたいのは、昨年亡くなられましたG委員も含めて本当に真摯な協議を重ねていただいたことを、本当に私、心からお礼を申し上げたいと思います。

また先ほどF委員からも伺いましたように、本年3月、知事の前期の公約でございましたので、そのことにも十分ご配慮をいただいて調印いただきましたこと、これにつきましても改めてお礼を申し上げます。

そのことを十分踏まえながら、私どもこの合意をいただいた対策について、着実かつ確実に、そして先ほどの言葉を踏まえますと、スピード感を持って取り組まなければならないと改めて心に刻んでいるところでございます。

冒頭、市長さんのお話にありましたように、これはスタートラインでありますので、こ

のスタートラインをしっかりと皆様方の想いを受け止めながら、取り組んでいくことが私どもにとって何よりも大事なことと思っております。

委員の皆様方には、本日また新しく就任された方、また、これまでお世話になった委員の方々、これから引き続きお世話になります。どうぞよろしく願いいたします。

そして、改めて私ども誠意を持って、誠実に取り組んでいくことをお誓い申し上げまして、簡単ではございますが、ご挨拶に代えさせていただきます。

本当にありがとうございます。

●苦小牧市長 本日は継続協議事項でございました枠拡大に係る覚書の確認事項につきまして合意をいただきましたこと、委員の皆様方に心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

今年3月に基本合意をいただいている訳ではありますが、これまでも地域の皆様が、ご納得いただいた上で枠拡大ができるよう、市としても、しっかりと取り組んできたところでございます。

航路下地域の皆様には、これまでも多大なご理解、ご協力をいただいていたわけですが、更に新たなご負担をお願いすることになる訳でありますけれども、安心、安全な暮らしを確保して、十分な環境対策を施すため、住宅防音対策あるいは地域振興対策につきまして、北海道と連携し、文字通りスピード感を持って、しっかりと取り組んでまいり決意でございます。

結びになりますが、委員の皆様には、これまでも大変ご負担をお掛けしてきたところではございますが、今後とも引き続きご理解ご協力を賜りますよう心からお願いを申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきたいと思っております。

誠にありがとうございました。

●苦小牧市空港政策課長 以上をもちまして、第44回新千歳空港の24時間運用に関する苦小牧市地域協議会を終了させていただきます。本日は、誠にありがとうございました。